



WATAKYU GROUP
CSR REPORT
2009

Corporate Social Responsibility Report

企業品質向上への軌跡



WATAKYU GROUP



先代社長・村田清次を偲んで2003年に建立した^{しょうとくひ}頌徳碑。
この碑には、医療・福祉の分野における事業で社会貢献を貫いた足跡が刻まれている。
「心」を社是とした故・村田清次社長の想いには、
すべてのステークホルダーの皆様への感謝と思いやりが込められている。

読者の皆様へ

弊社グループでは1998年に「ワタキューグループ基本方針」を制定し、グループ全社員の皆様が行動の規範としています。この基本方針に沿って弊社は、ご契約先様を始めとするステークホルダーの皆様に対し、清潔・安全・安心できる製品やサービスをより良いものとするためにさまざまな取り組みを行っています。

本冊子は、皆様にこうした弊社の姿勢や活動をありのままにご報告し、より良い会社にしていくための重要なコミュニケーションツールとして作成しました。

本冊子でご報告した考えや活動につきましてまだまだ不十分なところもありますが、弊社グループ社員一同、今後も更なる取り組みに挑戦したいと考えています。

編集方針

◆本冊子は、基本方針に基づいたステークホルダーごとの取り組み報告で構成しています。

◆読みやすさを重視し、情報量をコンパクトにまとめました。

より詳細な情報は、弊社ホームページおよび各種レポートをご覧ください。

- ワタキューセイモアホームページ

<http://www.watakyu.co.jp/>

- 各種レポート/会社案内・総合カタログ

報告範囲

【対象範囲】

ワタキューセイモア株式会社

- 一部グループ会社も掲載しています。
- 本レポートの本文中では、ワタキューセイモア株式会社を「弊社」、ワタキューグループを「弊社グループ」と区別して表記しています。

【対象期間】

2008年7月1日～2009年6月30日

一部対象期間外の活動も記載しています。

【発行時期】

2009年10月

【次回発行】

2年ごとに更新予定

INDEX

読者の皆様へ/編集方針/報告範囲	1
安道社長からのメッセージ	2
ワタキューグループ紹介	4
CSR経営	6
コーポレートガバナンス	7
情報セキュリティの取り組み	9
患者様・入居者様・ご契約先様への責任	10
リネンサプライの洗濯工場における品質管理	11
リネンサプライの生産工程	12
受託管理業務における品質向上の取り組み	14
サービスの提供体制における品質向上の取り組み	15
保証・賠償制度	15
社員の皆様への責任	16
高齢者・障害者雇用	17
健康管理対策	17
契約保養施設	17
育児・介護関連制度	17
教育制度	18
自己啓発支援	19
厚生行政情報の配信	19
労働安全衛生	19
地域社会への責任	20
社会福祉活動	21
スポーツ振興	21
社会との共生	22
教育支援	23
環境への責任	24
地球環境に配慮した工場へ	25
さまざまな環境活動	26
自然保護活動	27
グループ企業のCSR活動	29
編集後記	32





60,000名の社員の皆様一人ひとりが「基本方針の金太郎飴」になることが ワタキューグループのCSR実現のカギなのです

明治5年(1872)の創業から続いた村田製綿所が、ワタキューグループとして医療、福祉、介護の分野に進出し、病院寝具類のリースなど新しい事業を築き上げて以来、私たちはご契約先様の視点に立ち、健康関連のさまざまなサービスを展開してまいりました。

現代は、少子化、高齢化などを背景に医療制度や介護制度が変わるなど、医療や福祉を取り巻く環境が大きく変化しています。この変革の時代の中でこそ、創業時の原点に還り、常に感謝の気持ちと謙虚な姿勢を忘れることなく、基本方針を徹底し、皆様の健康と豊かな生活に貢献していきたいと考えています。

故・村田清次社長の時代、社長もお母様も大変腰が低く、ご契約先様だけでなく、社員の皆様や仕入先の方々、ちょっとした物を届けに来られた方までにも、「いつもありがとうございます」と言って深く頭を下げられていました。私たちはそれを見て、基本の姿勢を学んだのです。

しかし残念なことに、長い年月を経るうちに「いつの間にか、この姿勢が忘れられてきているのではないだろうか」と、感じるようになりました。ですから、私が社長に就任した12年前、感謝の気持ちと謙虚な姿勢を忘れてはならないという思いで、社是を「心」とし、「創業時の原点に還り」から始まる「ワタキューグループの基本方針」を策定しました。

この中に書かれていることは、会社だけでなく、家庭でも学校でも、それこそ、人間社会の万般に通じることです。しかし、基本方針の通りに行動できるかという、非常に難しいのです。難しいけれど、今、これを実行しなければ、時代の激しい変化に対応しながら、ご契約先様のご要望に「最高のサービスと品質」を提供し続けていくことはできません。つまり、私たちの未来はないと考えたのです。

この基本方針を毎日の朝礼や会議のたびに唱和し、社員みんなが意識し始めたことで、徐々に行動に表れるようになりました。また、外部の方からも、少しずつご評価いただけるようになりました。

一方、法令の遵守や公正な商習慣による企業活動は、経営の根幹であり社会への義務であると考えています。弊社では、いつでもどの部署にでも行くことができ、何でも調べられる権限を持つ調査部を設け、不祥事が起きないように取り組んでいます。

情報の活用も企業活動の重要な要素ですが、情報漏えいなどのリスクも増大しています。弊社では、個人情報を含むすべての情報をコンプライアンスに則って管理・運用するために「情報セキュリティ基本方針」をつくり、情報漏えいなどの事故防止を図っています。

これらのこともすべて、「ワタキューグループの基本方針」の精神に含まれており、感謝と謙虚の気持ちを持っては実現できると信じています。

創業時は20名から始まった弊社グループも、今ではグループ全体で60,000名を超える規模となり、社会的にも大きな責任を担う企業グループに発展しました。

支えてくださった皆様への感謝を忘れず、これからも企業活動を通じて医療、福祉、健康分野をサポートさせていただくと同時に、社会に貢献できる企業へと成長するよう努めてまいります。

本報告書は、弊社としては初めての「CSR報告書」となります。CSR活動と環境保全活動の現状をご紹介しますことで、「信頼される企業」を目指すワタキューグループの考え方と取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

2009年9月

代表取締役社長

安道光二

ワタキューグループの経営理念

我々は企業の存在理由は社会貢献にある事を基礎とし
企業を通じてすべての人びとの健康と
豊かな生活に寄与するべく
技術機能を発揮し顧客の要望に誠意をもって応え
最高の品質サービスの提供を続け信頼を得て
永遠に会社の発展を目指す
創業時の原点にかえり時代の変化に対応しつつ
たゆまぬ努力と活動をもって
経営基盤の確立と拡大を推進し
社会に報いると共に
全従業員的生活向上安定を計る事を理想とする

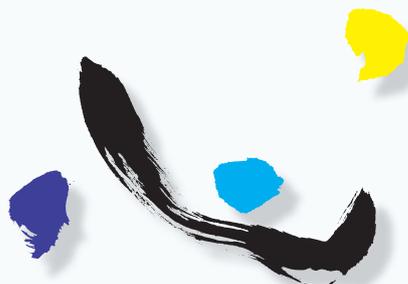
ワタキューグループの基本方針

私達は創業時の原点に還り、

- お客様には仕事をさせて頂いている
- 会社のみなさん方はお互いに働いて頂いている
- 仕入先には売って頂いている
- 外注、配送その他関連先には仕事をして頂いている

という感謝の気持ちと謙虚な姿勢で
何事にも接する社風を醸成すると共に、
誰もが思いやりの心を持ち、互いに協力し、
人に誇れる立派な会社に勤めて
良かったと思えるグループにする。
以上を礎としてワタキューグループ
の強固な石垣を構築するため
社是を「心」とする。

社是



● グループ事業展開

ワタキューグループは明治5年(1872)に京都府綴喜郡井手町に製綿業を本業として創業しました。

昭和37年(1962)に製綿業の枠を超えて、病院寝具のリースという事業分野を開拓して以来、ワタキューセイモア株式会社を中核企業として医療、福祉、介護、給食、薬局、人材派遣、総合アウトソーシングなど、あらゆる健康関連事業の分野へサービスを展開しています。

現在は60,000名を超えるスタッフが地域はもとより全国各地で医療・福祉環境・健康分野全般においてグループメリットを追求しています。

● ワタキューセイモア 会社概要

会社名	: ワタキューセイモア株式会社
URL	http://www.watakyu.co.jp/
本社所在地	: 京都府綴喜郡井手町大字多賀 小字茶臼塚12-2
本部所在地	: 京都市下京区烏丸通高辻下る薬師前町707 烏丸シティ・コアビル
創業	: 1872年10月5日
設立	: 1962年7月17日
資本金	: 4,850万円
支店・支社	: 北海道支店・東北支店・東京支店・ 名古屋支店・近畿支店・中国支店・ 四国支店・九州支社
営業所	: 全国25営業所
工場	: 全国37工場

● 主要グループ企業

ワタキューグループは、46社、約60,000名のスタッフで医療・福祉環境、健康分野を専門力・総合力でサポートしています。

ワタキューセイモア株式会社



日清医療食品株式会社

● 給食受託

日清医療食品は、「食」をテーマに医療・福祉施設様でのアメニティサービスをサポートしています。

資本金/39億7,100万円 設立/昭和47年(1972)9月



綿久リネン株式会社

● ホテル・レストラン向けリネンサプライ

● ダストコントロール用品のリース・販売

ホテルやレジャー施設様などに、清潔で快適なリネン類を提供しています。

資本金/4,500万円 設立/昭和48年(1973)1月



株式会社ハートウェル

● 在宅福祉用具のレンタル・販売

● 在宅介護のための住宅リフォーム

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修サービスをもとに、お客様に快適な生活を提案しています。

資本金/8億3,380万円 設立/平成13年(2001)2月



株式会社フロンティア

● 院外調剤薬局事業

医療と介護の両面からコンサルティングする患者様本位の薬局機能を展開しています。

資本金/4億8,500万円

設立/昭和58年(1983)11月



株式会社メディカル・プラネット

● 医療業界人材派遣・紹介事業

医療・福祉業界に特化した人材紹介・派遣会社です。

資本金/8,800万円

設立/平成12年(2000)8月



株式会社セイモア

● 医療関連サービスのトータルコーディネート業務

患者様にとってかけがえのない病院様に、質の高いサービスを継続的に提供しています。

資本金/3億円

設立/平成14年(2002)8月



株式会社コモサ

● 医事関連業務

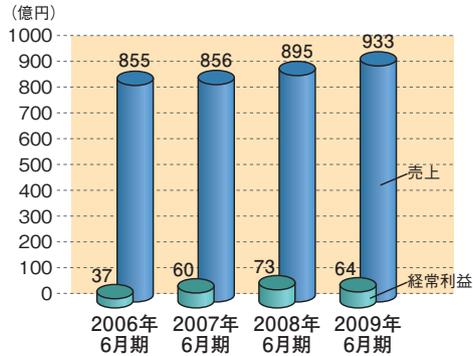
医療関連業務と医療コンサルティングを通して、質の高いサービスを提供します。

資本金/8,000万円

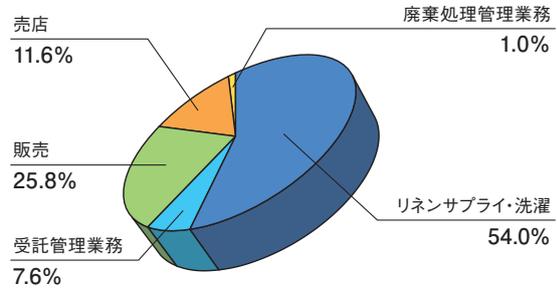
設立/平成4年(1992)10月

● **ワタキューセイモア 事業活動の概要**

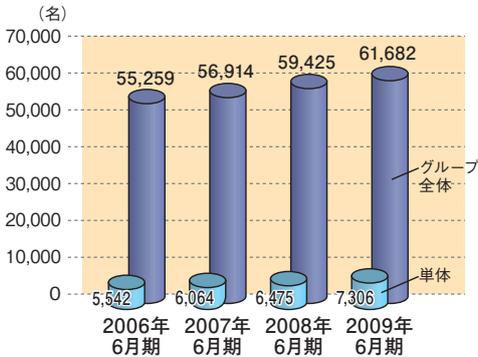
◎ **売上・経常利益 推移 (単体)**



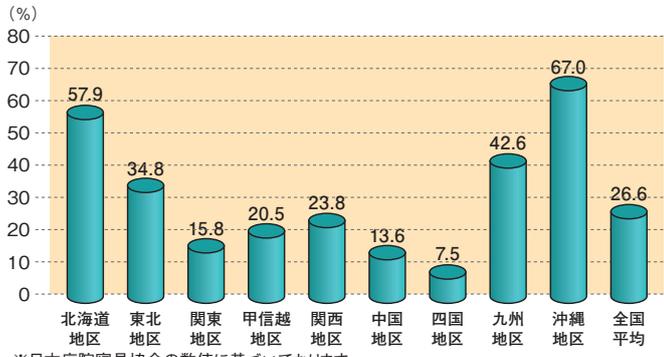
◎ **売上構成比率 (2009年6月期)**



◎ **社員数 推移 (各年6月30日時点)**



◎ **地域別病院寝具リネンサプライ導入シェア (2008年6月期)**



※臨時雇用人数も含んでおります。

※日本病院寝具協会の数値に基づいております。
※沖縄地区は弊社グループ会社の沖縄綿久寝具(株)の数値です。

● **ワタキューセイモア ネットワーク** 1支社7支店25営業所37工場 (2009年6月末現在)



※2009年度内移転予定

一人ひとりが社是を体現する企業を目指します

ワタキューグループ創業140周年(2012年)に向け、常に感謝の気持ちと謙虚な姿勢を忘れることなく、社是を「心」とする「基本方針」を実践することで「オンリーワン企業」を目指します。



グループ全体で 経営理念・基本方針を徹底しています

取締役/会長・社長室 室長 **中島 征夫**

弊社グループは、医療機関や福祉施設の運営を縁の下から支える事業そのものが社会に貢献しているとの誇りをもって日常業務に携わっています。しかし創業以来、好調な業績を維持しているため、とすれば社員の頭が高くなることがないとは言えません。そこから生じる弊害を最小限に留めるために、さまざまな取り組みをしています。

本部からグループ企業に至るまで、朝礼、役員会議、部門会議など、あらゆる機会に「基本方針」などを唱和しているのは、その一歩です。また、ご契約先様に対して毎年1回「顧客アンケート」を行い、問題の有無と今後へのご意見を伺っています。一方、社員の皆様に対しては専門の調査会社に委託して「基本方針」に関する調査を実施し、厳しい本音の声に耳を傾け、その内容を経営会議に上げて、さまざまな角度から改善につなげています。

意識改革には長大な時間を要しますが、ステークホルダーの皆様の声に真摯に耳を傾け、経営の透明性・健全性を保っています。



コーポレートガバナンス

● コーポレートガバナンスの基本的な考え方

弊社グループでは、社是を「心」とする基本方針に則り、ステークホルダーの皆様へ信頼され成長を続けるために、コーポレートガバナンスの充実に努めています。

これを実現するために「企業の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの徹底」「コンプライアンスの徹底」をテーマに取り組んでいます。

● コーポレートガバナンス体制

■ 取締役会

経営に関する重要な事項の決定および報告を行います。取締役会は13名で構成され、毎月1回の定時開催に加え、必要に応じて臨時役員会を開催しています。

■ 執行役員制度

2006年9月にガバナンス体制を強化するため、経営監督と業務執行とを明確に分化するべく、執行役員制度を導入しています。業務遂行に関する権限を執行役員に移譲し、取締役が執行役員を監督する体制としています。

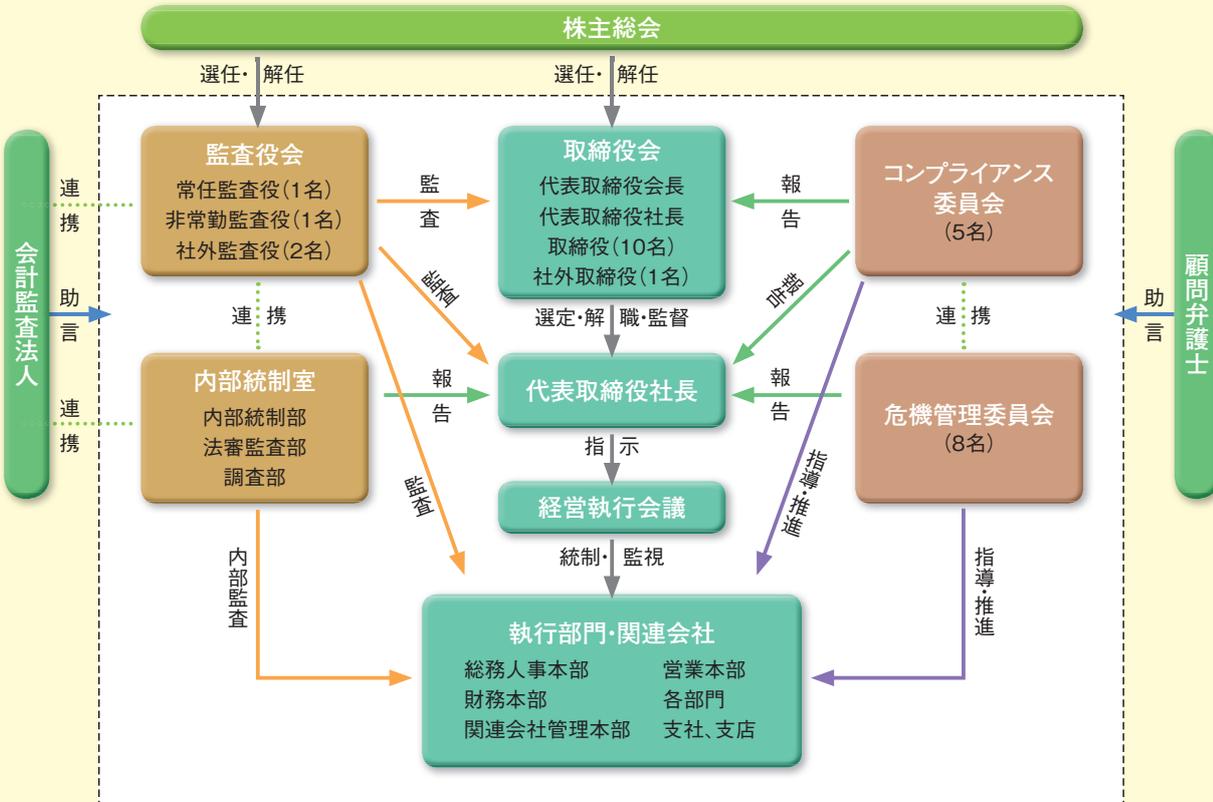
■ 監査役制度

監査役は4名で3ヶ月に1度以上監査役会を開催しています。監査役会で策定された監査方針、監査計画に基づき、取締役会をはじめとする重要な会議に出席するとともに、取締役の業務の執行状況に関し、適宜監査を実施し、経営執行を監視する体制を整えています。

■ 社外取締役および社外監査役

社外取締役1名、社外監査役2名の体制です。

◎ コーポレートガバナンス体制図



● 内部統制システムの構築

弊社では、財務報告の適正確保と、社員の皆様の基本方針の実践、経営方針に沿った業務、社会法規・社内規定に基づく業務、公正な商慣行の遂行など、適正業務の執行を確保する体制強化のため内部統制室を設置しています。

内部統制室には内部統制部・法審監査部・調査部の3部門を設け、グループ全体を対象とした内部統制の整備、運用状況の検証、内部監査の充実・強化などを行っています。

また、監査および調査の結果は社長に報告され、改善ならびに是正指示が発せられます。

● リスクマネジメントについて

弊社では、さまざまなリスクについて、未然防止および発生時の最小化に向け、危機管理委員会の設置ならびに危機

管理マニュアルを策定し、潜在的なリスクの発生予防と発生したリスクへの対応の両側面からリスクマネジメントを推進しています。

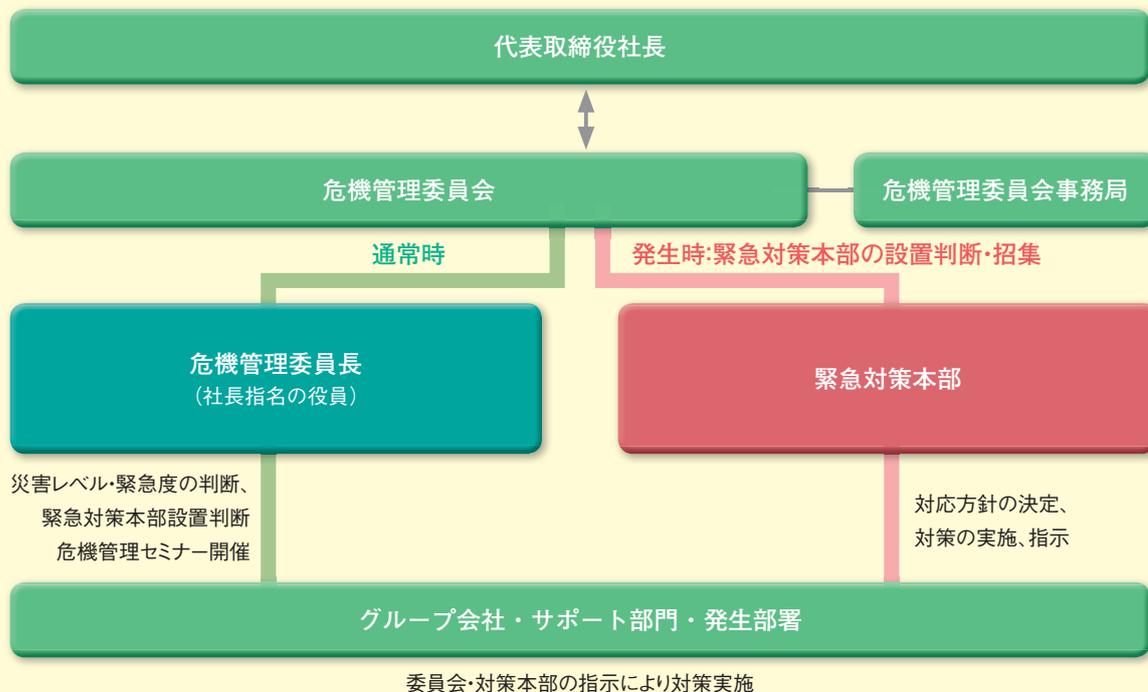
万が一リスクが発生した場合は、現場の第一線よりトラブルの第一報を受信した後、設置基準に基づき緊急対策本部を設置し、社長が緊急対策本部長を指名し、適切な対応と問題の早期解決を図ります。

● コンプライアンスについて

社員の皆様に遵法意識を徹底させるとともに、内部統制室における監査、コンプライアンス委員会の設置など、法令遵守のための諸制度を設けています。

コンプライアンス委員会は社外の有識者を招聘した5名で構成されており、重要な問題を審議し、その結果および対策を取締役に報告・提案しています。

◎ 危機管理体制図



情報セキュリティの取り組み

● 情報セキュリティの基本的な考え方

弊社では、個人情報や会社の経営に関する情報、その他事業遂行過程において取り扱うすべての情報を、コンプライアンスに則り適切に管理、運用するために、「情報セキュリティ理念」「情報セキュリティ基本方針」を策定し、情報漏えいなどの事故防止に努めています。

● 情報セキュリティ理念

弊社は、情報資源の活用を図るとともにリスク管理を適切に実現する情報資源管理体制を確立し、情報の有効活用と情報セキュリティ確保を実現することで、社会に貢献する優良企業となることを目指す。

● 情報セキュリティ基本方針

今日の企業活動において「人」「物」「金」に加えて「情報」が重要な要素である。情報の活用により企業競争力の維持および向上が図られる一方で、情報漏えいや不正アクセスなど様々な脅威が増えつつあり、企業活動に多大な影響を受けるリスクも増大している。そのため、弊社は、情報を適切に管理し、積極的かつ安全に活用するための基盤を構築、維持していかねばならない。また、企業の社会的責任において、ウイルス感染源や不正利用の温床になるなど、社会的信用を失う事態をおこしてはならない。これらのことから、弊社は「ワタキューグループ基本方針」を実現すべく、情報の適切なリスク管理を重要な情報戦略の一つとして位置づける。

弊社は、この取り組みのために情報セキュリティの基本方針として、本基本方針書および情報セキュリティ規程書ならびに各情報セキュリティ基準を、情報セキュリティポリシーとして定める。

● 情報セキュリティ対策

情報セキュリティの取り組みを徹底させるため、コンピュータウイルス対策、データの暗号化など技術的な対策をするとともに、個人情報保護法などの重要項目に関してはTV会議システムを利用した社内教育を実施しています。



個人情報保護マニュアル



TV会議(勉強会)



プライバシーポリシー、および弊社が取り扱う個人情報に関する詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.watakyu.co.jp/>



安心・安全・快適のサービスの提供に徹しています

弊社は入院を余儀なくされている患者様、施設に入居されている方に、安心と安全、快適な療養環境の提供をすることと、治療・看護・介護を提供される方々が業務に専念できる環境を提供することを使命としています。



笑顔の交流を通して「仕事をさせていただいている」
感謝の気持ちが、身に染みる毎日です

院内作業従事社員 療養環境支援員
(財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 所属)

徳納 明美

この仕事を始めたのは、私自身が長期間の入院生活を過ごし、いろんな人のお世話になったのがきっかけです。何かと心細い中、とくに看護助手の方には、身の周りのことだけでなく気持ちの面でも支えていただきました。私がそうだったように、患者様にとって一番身近で話しやすいのは、毎日病床を訪ね、ごみの回収や部屋の清掃をする看護助手ではないでしょうか。だから私は廊下ですれ違ったときなども、顔を合わせるたびに必ず声をお掛けするようにしています。

また、一人ひとりの患者様に見聞きしたことをお話してコミュニケーションを図っています。「(担当が)あなたで良かった。ありがとう」と言われたときはとても嬉しいです、もっと頑張ろうという気持ちになれます。

会社の基本方針に書かれている「お客様(患者様)には仕事をさせていただいて」の言葉が身に染みるこの仕事を、ずっと続けていこうと思っています。



リネンサプライの洗濯工場における品質管理

● 主要リネンサプライ取扱品目

寝具設備、患者衣、メディカルスタッフウェア(白衣)、ケアスタッフウェア、カーテン、マットレス、ベビー・マタニティ衣類、布おむつ、肌着、タオルなど



寝具



白衣



マット



タオル

● 品質管理

洗濯工場は財団法人医療関連サービス振興会の医療関連[®]マークの認定を受け、さらにISO9001:2000(ISO9001:2008を2009年10月認証予定)の認証を取得し、全工程において作業標準書に基づく作業を行っています。



医療関連サービス振興会 認定証書
(寝具類洗濯業務)



ISO登録証

● 製品選定

製品は「衛生的かつ快適な生活を提供する」という基本ポリシーのもと、風合いや見た目の心地よさにまでこだわった製品を開発・提供しています。



寝具ご提案例

● 衛生管理

ご契約先様に清潔なリネンをお届けするために、さまざまな衛生管理を実施しています。例えば工場内を洗濯までの不潔エリアと仕上げ工程以降の清潔エリアに完全に分離しています。さらに微生物に対する衛生自主基準を設定して定期的に細菌検査を実施し、リネンの衛生保持に努めています。

● 白衣個別管理[※]

個々の白衣にICタグや二次元コードを取り付け、製品の所在や洗濯回数などの情報を把握し、ご契約先様のウェアを確実に管理しています。



二次元コード・ICタグ取り付け



各工程において情報読み込み



読み込んだ情報をデータ管理

※白衣個別管理システムは、一部導入していない地域もあります。

リネンサプライとは……

病院、ホテルなどで使用するシーツ、枕カバー、タオルなどのリネン(シーツ布製品などの総称)をクリーニングして供給することを「リネンサプライ」と言います。シーツ、掛け布団カバー、枕カバーをはじめ、カーテン、マットレス、タオル類、病院向けの白衣や手術衣、患者衣や各種ユニフォームなどのクリーニングサービスを提供しています。



リネンサプライの生産工程

清潔で快適なリネンをご契約先様に提供するため、リネンサプライの生産工程には細心の注意を払っています。使用済みリネンの洗濯・消毒はもちろんのこと、仕上げ・出荷に至るまでの各工程の作業を合理化・標準化して、品質の維持・向上に努めています。

● 生産工程の検査体制

最先端の設備を導入し、入荷から洗濯、乾燥、仕上げ、衛生管理、出荷に至るまで全工程を自動化・省力化し、先進のローコストオペレーションを実施しています。工程内に金属探知機、シミ・破れ検知カメラを導入し異物（針など）混入防止やシミ・破れ検査も実施しています。

● 集中監視システム

洗濯物の入荷から出荷までの工程を監視し、確実な生産を実施します。洗濯物に合わせた洗剤量・水温などを最適にコントロールしています。



集中監視システム

● 工場見学

各工場において工場見学会を積極的に開催しています。東京工場においては2008年1月から2009年4月までの間に43組（延べ113名）の方々に、工場見学に来ていただきました。



東京工場見学風景

● スリングバックシステム

生産管理機能を備え、合理化の要となっている工場内大容量搬送システムを各工場に設置しています。



スリングバックシステム

◎ リネンサプライの生産工程と検査体制



VOICE

名古屋支店生産部 生産部長代行 ●小野寺 康弘
(静岡・甲信・長野・北陸・新潟 各工場管理)

生産工程では入荷から配送の工程に至るまで「次の作業場はお客様」という考えで、「ご使用になる方が安全で気持ち良く使用していただけるリネン」として自信を持って日々出荷しています。現在は多くのお客様が工場見学に来られますが、私が自信を持ってご案内させていただいています。



東京支店生産部 ●宮井 利美
(生産部 8号ロール担当)

工場勤務の仕事では、直接、患者様や入居者様と顔を合わせることはありません。けれども、自分の仕上げた寝具に包まれる人の心地よさ、洗い立ての肌着に袖を通す喜びを思い浮かべるたびに、この仕事の大切さを実感し、もっと質の高いサービスを提供したいという意欲が湧いてきますね。



東京支店生産部 ●吉澤 深雪
(出荷担当)

寝具やリネンの出荷業務には仕分けの正確さが求められますので、私は周りとの連携に気を配っています。例えば洗濯エリアとの連絡を密にすることで、配送ドライバーへの引き渡しがスムーズになり、少しでも早く着実にお届けできますから。小さな心づかいが人の役に立てることに喜びを感じています。



清潔エリア

仕上げ



トンネルフィニッシャー



整然と管理されたラインで移動



個人識別管理システム

検品

出荷・定期納品



投入機



ロールアイロン



自動たたみ機



金属探知機

■弊社では1日100万枚を仕上げ、出荷しています



受託管理業務における品質向上の取り組み

弊社では、日々命と向き合う医療・福祉施設職員の皆様が本来の業務に専念できる環境にするため、個々の業務だけでなく、管理業務全般のコーディネートも受託しています。

● 主な受託管理業務

リネンセンター・洗濯室業務、総合物品管理（SPD）、清掃業務、中央材料室業務（洗浄・滅菌・物品サプライ）、手術室補助業務（清掃・消毒・補助）、感染性廃棄物処理管理業務、設備管理・保守管理業務、売店・喫茶運營業務など

● 品質管理

「ISO9001 品質マネジメントシステム」に基づき、ご契約先様に向けた各業務の手順書の作成および業務の改善、標準化を行います。また、業務の運用状況と精度について、日常的・定期的にモニタリングを実施しています。

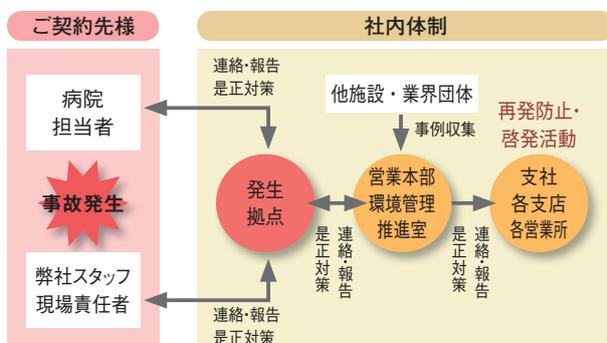
日常のモニタリングでは、毎日の業務がマニュアルで定められた通りに実施されているか、現場の業務責任者が確認し、定期的モニタリングでは、業務がマニュアル通り適正かつ継続的に実施されているかを支社・支店・本部スタッフにより調査、内部監査を行います。

● 事例管理制度

ご契約先様で事故やクレームが発生した場合、現場責任者から支社・支店・営業所を通じて、営業本部の専門部署（環境管理推進室）へ事故報告書が提出されます。

環境管理推進室では、事故事例の解析・対処方法を記したレポートを支社・支店・営業所に発信しています。

また、それぞれの現場において、発信されたレポートに対する対応が実施されているか、教育スタッフが巡回して確認し、再発防止に取り組んでいます。



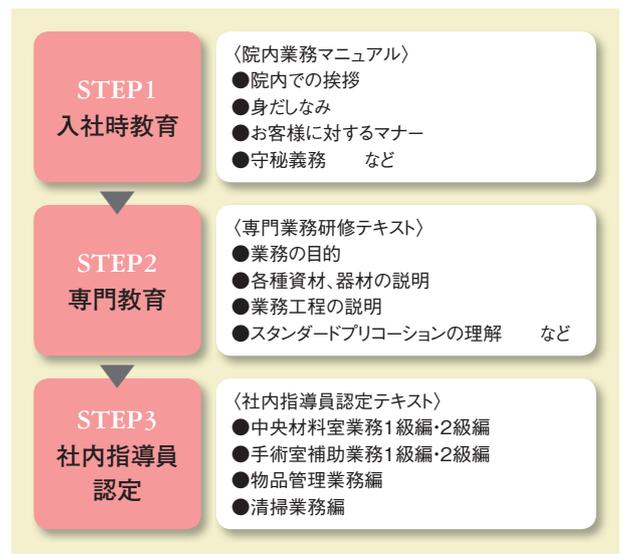
● 社内指導員認定制度

弊社では現場社員のレベルおよび技術向上のため、継続的・段階的に教育を行う制度として「社内指導員認定制度」を設けています。

物品管理・清掃業務・中央材料室業務・手術室補助業務については「業務経験及び現場立上実績」、「社内指導員認定講習全単位取得」、「社内指導員認定試験合格」の全ての条件をクリアした社員を社内指導員として認定します。

社内指導員は各現場においての指導および管理に当たっています。

2008年度の認定は延べ42名（累計 延べ305名）です。



● クレーム・事故対応体制

医療・福祉施設という現場においては、軽微な事故であっても対応次第では生命に影響を及ぼすような事態に発展することがあります。

そのような事態を引き起こさないため、業務中のクレームや事故が発生した場合に速やかに対応するための体制を周知し、導入研修時およびミーティングなどの場で、クレーム・事故の対応についての教育を実施しています。



サービスの提供体制における品質向上の取り組み

● 運輸部門の取り組み

ご契約先様に洗濯物などの製品をお届けし、また使用済み製品をお預かりする運輸部門でも、品質の確保や安全かつ確実な業務が要求されます。

そのために「ISO品質マネジメントシステム」に基づき作成した「物流業務基準」に則って、例えば運転日報による日々の運行管理や運行前のアルコール検知器検査の実施、安全運転講習会の定期的な開催などを通じて、安全に製品をお届けするための体制を整えています。

● 車両衛生管理の取り組み

■ 車両消毒

常に衛生的に搬送するため荷積み前に必ず車両消毒を行っています。



車両消毒

■ 清潔・不潔分離配送

清潔物と不潔物を混載しないための清潔・不潔分離配送を推進しています。

● 顧客アンケート

弊社の提供するサービス・業務についてのアンケートを定期的実施し、ご契約先様にどのように受け止められているのかを分析・測定して、更なるサービスの向上のための継続的な改善に努めています。

■ 最新の顧客アンケート結果の概要

- 実施年月：2008年12月
- アンケート発送数：1,498通
- 有効回答数：884通(回答率 59.0%)

○ ご評価いただいた主な点

- ① ご購入された製品
- ② 弊社事務社員の電話対応・言葉遣い
- ③ 施設内常駐作業社員の服装・言葉遣い

△ 今後更なる改善を必要とする主な点

- ① 医療・介護に関する営業員からの情報提供
- ② ご契約先様のご要望に対する営業員の迅速な対応
- ③ 請求書・伝票などの見やすさ

保証・賠償制度

● 工場業務バックアップ体制

万が一災害・事故などが発生した場合も、各工場のネットワークにより、製品供給を滞らせることなく供給する体制を整えています。

阪神・新潟における震災時もネットワークを通じて製品供給を円滑に行うことができました。

● 賠償責任保険

弊社の業務全体を取り巻く種々の賠償リスクに包括的・総合的に対応し、ご契約先様から要望される賠償責任能力基準にも十分応じられる補償内容を備えた賠償責任保険として、「企業向け総合賠償責任保険(和文CGL保険)」を導入しています。

◎ 賠償責任保険の概要

保険の名称	対応するリスク	てん補限度額	免責金額
企業向け 総合賠償責任保険 (和文CGL保険)	施設リスク 請負リスク 生産物リスク 昇降機リスク 受託リスク	● 対人：保険期間中1事故当たり5億円 ● 対物：保険期間中1事故当たり5億円	1事故当たり1万円
	クリーニングリスク	● 対物：保険期間中1事故2億2,100万円	1事故当たり5千円
	自動車管理者リスク	● 対物：保険期間中1事故5,000万円	1事故当たり5万円



一人ひとりが「心」を大切にすることを目指します

弊社グループでは社員の皆様が勤務する上で基本方針の実践を最重要視しています。感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接すること。誰もが思いやりの心を持ち互いに協力し、人に誇れる立派な会社に勤めて良かったと思えるグループにすること。これらの基本方針を実践するための環境づくりを推進しています。



相手を尊重し協力し合える 快適な職場環境づくりを進めています

総務人事本部 課長 **小林 隆郷**
総務人事本部 **北川 友紀**

小林 総務人事本部の仕事は多岐にわたりますが、業務を円滑にこなして当たり前で、決して目立つ仕事ではありません。けれど、会社の基本方針に則って、社員の皆さんにとってより良い仕事環境をつくるための重要な部門だと考えています。

北川 私も、総務人事本部の一員として、社員の皆さんが互いに気持ちよく働ける環境であるよう、潤滑油的存在であることを常に心がけています。

小林 社員間の信頼関係が大事ですね。

北川 本当にそう思います。私は全国の社員の皆さんと接し、それぞれの地域にある習慣や特色に触れる中で、さまざまな価値観があることを理解しながら、信頼関係を築くよう努めています。

小林 人との出会いが多い業務の中で、新卒採用に際して

は、特にたくさんの学生さんとお会いします。初めて会う会社の社員、窓口として、良い第一印象を持っていただけるよう、私自身、自覚を持って接しています。スタッフもまた、同じ考えで接しているのが分かります。また、若い人の考え方と会社の考え方が違うと感じることもありますが、一方的にこちらの考えを押し付けるのではなく、こちらの考え方を伝えつつ、新しい考え方を受け入れて会社のプラスになるように持って行く、スポンジ役になりたいと強く思っています。社内でも、後輩の皆さんの意見には積極的に耳を傾けるようにしています。

北川 確かに、何でも言いやすい環境をつくってもらっていると感じています。私たちもいくつか仕事を任せてもらっているので、一つひとつの仕事にやりがいを感じますし、同時に強い責任感を感じています。

小林 心がけたいのは、どんな場合でも相手の立場に立って早くレスポンスをすること。互いに尊重する気持ちを持って、基本方針を実践するための環境づくりを進めています。



高齢者・障害者雇用

弊社は会長の村田秀太郎が「社団法人京都高齢・障害者雇用支援協会」の会長を務めるなど、障害者、高齢者の雇用に重点を置いています。

高齢者雇用については、定年後もその経験、能力を生かし、また働く意欲を十分に発揮していただけるよう、最長65歳まで契約更新できる再雇用の制度があります（2013年までに段階的に導入）。高齢者雇用率は2007年までは5%台でしたが、2008年には8%、2009年には10%を超えました。

また障害者雇用についても、2007年に法定雇用率の1.8%を達成し、2008年には2.0%となりました。

今後もグループをあげて雇用強化をするとともに、活動の場所を広げていきます。

◎高齢者雇用（各年6月1日時点）

	社員数	高齢者雇用数	雇用率
2006年	5,508名	304名	5.52%
2007年	6,037名	355名	5.88%
2008年	6,450名	519名	8.05%
2009年	6,459名	648名	10.03%

※社員数は週20時間以上勤務の社員を対象としています。

◎障害者雇用（各年6月1日時点）

	社員数	障害者雇用数	雇用率
2006年	5,508名	97名	1.76%
2007年	6,037名	111名	1.85%
2008年	6,450名	129名	2.00%
2009年	6,459名	137名	2.13%

健康管理対策

弊社では社員の皆様が心身ともに健康で業務を行えるよう、定期健康診断はもとより、近年問題視されている心の健康問題に対応するために電話相談窓口を開設しています。

契約保養施設

低料金で使用できる保養施設と契約しており、家族や友人同士で気軽に利用できます。

育児、介護関連制度

弊社ではすべての社員の皆様がその能力を十分に発揮できるよう、仕事と育児や介護の両立のための働きやすい環境づくりや、多様な労働条件の整備を行っています。主な両立支援制度についてご紹介します。

◎仕事と家庭両立支援制度および育児、介護関連制度

制度	内容
育児休業	子供が満1歳に達する日までの育児のための休業制度 休業中の賃金は支払われませんが出産祝い金が支給されます
育児短時間勤務	子供が満3歳に達する日までの育児のための短時間勤務制度
介護休業	家族に介護が必要な状況となった際に対象家族1名につき通算93日まで休業できる制度
介護短時間勤務	家族に介護が必要な状況となった際に対象家族1名につき通算93日まで短時間勤務ができる制度

VOICE

育児休業制度を利用して 財務本部資材部 ●横谷 葉子

長男(3歳)の時に半年間、次男(9ヶ月)の時に9ヶ月間、育児休業制度を利用しました。休職中は子どもとゆっくり過ごし、リフレッシュできたと思います。仕事と育児の両立は自分の選んだライフスタイルなので、復帰後は職場の皆さんになるべく迷惑をかけないように努力しながら、子どもの笑顔に元気をもらって楽しく過ごしています。今後も、両立しながら頑張る人が増えればいいと思うので、育休に対してさらに開かれた雰囲気をみんなであつづけていきたいですね。



高齢者雇用に感謝して 東北支店生産部 ●関本 節子

入社して29年になりますが高齢者雇用の制度を利用して今でも健康に働けることに喜びを感じています。これからも若い人たちに助けられながら「70歳まで働きたいな」と思っています。



教育制度

弊社では社内教育の要はOJT(On-the-Job Training)教育と考えています。OJT教育の補足と社員の皆様の節目節目における更なる自己啓発を促すために「スキルアップ研修」、「職務別研修」のプログラムを用意しています。



スキルアップ研修

職務別研修

◎スキルアップ研修

対象者	題 目	内 容
全社員	ワタキューの基本	●基本方針の理解 ●工場見学
新入社員	ビジネスマナーの基本	●職場の知識(姿勢・挨拶・名刺交換・時間管理・電話応対) ●報告の優劣
入社1年目	入社1年目からの基礎知識とタイムマネジメントについて	●原価計算 ●総合アウトソーシング ●取扱商品情報 ●効率的な時間活用の修得
入社2年目	基本コミュニケーション研修	●自己の見直し ●プランの作成 ●他者評価 ●コミュニケーションスキル
入社3年目	対人折衝・コーチング研修	●対人折衝 ●自己の意識改革 ●コーチングスキル
OJT担当者	OJTの意義・OJTスキル	●指示、仕事の与え方 ●部下の動機付け
新任主任	職場リーダー研修	●職場リーダーの意識改革 ●リーダーシップ能力の修得
新任係長	マネジメント能力の向上	●係長としてのマネジメント ●協働できる環境づくり
新任課長	マネジメント能力アップ(公開講座)	●革新的リーダーシップ ●成果評価
新任部長	公開講座	●上級管理者としての問題認識 ●経営幹部としてのリーダーシップ
役員・幹部	独占禁止法について	●独占禁止法における企業結合審査制度について

◎職務別研修

対象者	題 目	内 容
常駐社員	業務マニュアルの理解	●業務手順の理解と接客マナー(業務マニュアルの読み合わせ・理解)
工場の社員	工場従事者の基本	●労働安全・衛生管理 ●5Sの基本(テキスト・ビデオ上映)
営業・総務・業務課・ 売店スーパーバイザー・ 常駐社員リーダー	採用担当者研修【基本編】	●面接のやり方・面接の判断基準 ●面接スキルの修得
	採用担当者研修【発展編】	●常駐社員のフォロー・コミュニケーションの取り方について
希望者・自薦(選出)	医療・介護関連事業研修	●現状の医療機関の運営について ●総合請負業務の現状 ●介護保険制度の現状と今後
希望者・自薦(選出)	メンタル研修	●メンタルヘルスについて ●セクハラ、パワハラについて

◎コンプライアンス教育

弊社では社員の皆様一人ひとりにコンプライアンスを周知するために、業務にかかわる主な法的分野について守るべき事柄を、具体的かつ分かりやすく説明した「個人情報保護法マニュアル」、「下請法マニュアル」、「独禁法マニュアル」を作成しています。

これらテキストを、役員をはじめ社員の皆様に配布するとともに、社内研修において積極的に活用しています。



個人情報保護マニュアル



下請法マニュアル



独禁法マニュアル



自己啓発支援

弊社では社員の皆様一人ひとりが向上心を持ち、目的を持って自己啓発に取り組むため、通信教育講座を設け受講コースに応じて全額もしくは50%の受講料を奨励金として支給しています。

VOICE

通信教育講座を受講して

総務人事本部 課長 ● 福田 雄三

80種類ものコースが用意された「通信教育講座の案内」を見て興味を持ち、5年ほど前から毎年受講しています。監査、安全衛生など、現在携わっている総務に関するコースをメインに、新しい法律や、他部門である経理についても学びました。実際の仕事に役立つだけでなく、勉強をきっかけに興味の幅が広がり、学ぶ習慣も身につけることができるので、多くの人に利用していただきたいと思います。



財務本部財務部 ● 尾井 幸一

これまでは業務との兼ね合いで受講しにくかったのですが、昨年は調整がつき、思い切って4コースの受講に挑戦しました。ビジネス会計の講座では普段の業務を構造的に理解することができ、ライフプランの講座では税金など生活に関することを楽しく学びました。毎日1時間の勉強で結果的にすべて合格することができ、達成感を感じています。これからは学んだ内容を実践し、次の目標を設定したいと考えています。



厚生行政情報の配信

弊社では毎日発信される厚生行政や医療・福祉・介護・保健関連の最新情報を、分かりやすく簡単にまとめて「ワタキューメディカルニュース」としてインターネット上に掲載し、毎週更新しています。

社員の皆様向けにも同様の内容を配信して質問・疑問などの問い合わせを受け付け、担当部署より回答しています。

<http://info.medicalplanet.co.jp/wmn/index.htm>

労働安全衛生

● 安全衛生委員会

社員の皆様の労働安全衛生のため、各支店、支社ごとに安全衛生委員を選任し、定期的に安全衛生パトロールや労働安全委員会を開催してい



安全衛生委員会

ます。また総務人事本部による支社、各支店の労務監査も実施し、労働環境や安全衛生面、健康管理などに関する確認や改善指導を行って、安全衛生に努めています。

● 運輸

運輸部門では日々の取り組みとして、運行前車両点検、アルコール検知器による運行前の確認、運行後の報告（運転日報など）を実施して、安全運転できる環境を整えています。また定期的なミーティングの開催、安全運転講習会の実施などを通じて、労働安全衛生の維持・向上に努めています。



アルコール検知器



配送トラック

● 請負業務

請負業務では、高温になる機械や圧力容器である滅菌機の取り扱い、またエチレンオキッドガスなどの人体に有害な特定化学物質の取り扱いが要求される現場もあります。そのような環境で、社員の皆様が安全で健康的に働けるように、定期健康診断や予防接種はもちろんのこと、研修や日々の現場指導および担当者の資格取得などを通じて、作業時の注意事項を徹底し、ゴーグルやマスク・手袋などの防護具を準備して着用するようにしています。また、作業環境の定期的な測定を実施し、安全な労働環境を提供できるよう、ご契約先様とご相談しながら、整備しています。



社会貢献活動に参加しやすい環境を整えています

弊社では「企業とは、地域・社会の皆様のおかげで成り立つもの」という心を大切に、地域・社会への貢献活動と社員の皆様一人ひとりが積極的に活動できる環境を継続的なものにするために、2007年にCSR推進室を設置し、地域に根付いた活動を展開しています。



地域の皆様への恩返しの 気持ちで参加しています

近畿支店・生産部 阪脇 和代

感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接すること。ワタキューグループの基本方針に貫かれているこの思いを大切にしながら、日々、業務に取り組んでいます。毎月、社員の皆さんが自主的に参加して最寄駅までの歩道や植え込みなどを清掃していますが、これも、いつもお世話になっている地元の皆さんに少しでも貢献させていただこう、という気持ちから始まりました。ごみや煙草の吸殻を拾ったり、草を刈ったりしていると、道行く人から「おはようございます」「いつもご苦勞様」などと声をかけていただき、爽やかな気分になります。最近では、ごみのポイ捨てが減っており、これも活動を続けてきた結果だとうれしく思っています。これからも、社会と共生する企業の一員として積極的に参加していきます。

富士山のごみを集める研修で 社会貢献の意義を学びました

近畿支店・大阪営業所営業部 楓 翔太

ワタキューグループの経営理念に「企業の存在理由は社会貢献にある」との一節があるように、弊社では毎年、研修の一環として新入社員が有志とともに富士山の清掃活動に参加しています。私も昨年、初めて富士山に登り、2合目周辺のごみを拾って分別する活動に参加しました。

大変驚いたことに、美しく見える富士山に空き缶や紙くずだけでなく、タイヤ、廃材、それに注射器などの医療廃棄物までが散乱しているのです。汗まみれになりながら、みんなでごみを片付けました。忘れることのできない、この貴重な経験を通して社会に貢献することの意義と喜びを知ることができました。これからも社会に対する問題意識を持って、仕事に取り組んでいきたいと思っています。



社会福祉活動

● あしながPウォーク10への参加



あしながPウォーク10に参加した社員の皆様

命を預かる病院の業務に携わる一員として、命の大切さを思い、考え、伝えるために、2007年から弊社は「あしながPウォーク10」に参加しています。

2008年度は、第34回あしながPウォーク10に各拠点の社員の皆様が京都・大阪・岡山・佐賀の4コースに参加しました。

あしながPウォーク10とは……

病気や災害などで親を亡くした遺児学生らが中心となって企画・運営するボランティア活動の一環で、全国47都道府県の約70コース各10kmを、遺児のことを考えながら歩くことで優しい人間愛社会（フィランソピイ）を国内外に広げるための活動です。

VOICE

総務人事本部 ● 高井 恵三



あしながPウォーク10に参加して、いつも歩いている道のわずかな段差が、体の不自由な人にはとても不便だと分かりました。また、志を同じくする人と巡り会えたことがうれしく、これからも積極的に参加したいと思います。

● 災害復興支援活動

弊社グループでは医療・介護の運営に携わる企業として、災害時には商品、サービスを提供するため、グループの総力を挙げて災害復興支援に尽くしています。



阪神淡路大震災 物資搬送

阪神淡路大震災においては、弊社グループ日清医療食品近畿支店が京都からヘリコプターをチャーターして、被災地のご契約先様13ヶ所に、被災初動対応として患者食・職員食合わせて61,548食を搬送しました。

スポーツ振興

● ソフトテニスを通じた社会への貢献

弊社女子ソフトテニス部は日本リーグで4度の優勝、第53回全日本実業団ソフトテニス選手権大会優勝など、国内トップチームとして活躍しています。



チームとしての活動とともに、地域へのソフトテニスの普及支援活動、ソフトテニスを通じた国際交流や次世代の育成にも貢献しています。

● ソフトテニスカーニバルを開催

2000年の日本リーグ初優勝を記念して、翌2001年から毎年、福知山市三段池公園テニスコートにて「日本一の競技大会」を目標に、夏は女子高校生を対象にした「ジュニア大会」、秋は大学生・社会人を対象にした「ソフトテニスカーニバル」を主催しています。



社会との共生

● 地域クリーン活動

周辺地域に貢献し、近隣住民の方々とコミュニケーションを図るという趣旨のもと、ごみ拾い、雑草引き、挨拶運動を実施しています。2007年7月に京都市内の本部より活動をスタートし、全国の各拠点においても同様に月1回実施しています。2008年度は1,835kgのごみを回収しました。また、寒冷地においては冬季に雪かきの活動をしています。



中国支店クリーン活動

● 保育園ワタキューキンダーハイムの運営



ワタキューキンダーハイム

1995年11月、駅型保育モデル事業として仙台駅前に駅前保育クラブ「ワタキューキンダーハイム」を開園。その後、2005年8月よりせんだい保育室B型保育園として運営しています。豊かな心を育むことを目標に、「何だろの気持ち」「がんばる力」「ありがとうの心」を持つ子どもを理想像として掲げ、発達段階に応じた適切な教育に努めています。(2009年3月末時点：園児数36名、職員数12名)

● エコキャップ活動

支社・支店を中心に、PETボトルのキャップを開発途上国の子供達のためのワクチンに換えるエコキャップ運動に協力しています。回収したキャップはNPO法人に送付し、プラスチック原材料として売却されリサイクルされます。



エコキャップ活動

キャップ800個でポリオワクチン1人分の購入費にあてられます。同時に「ペットボトルのキャップを外す」という行為により、ペットボトル本体の再資源化率を高め、焼却処分される量を減らし、CO₂排出量の削減にも寄与しています。

● 地域との活動

各地域で行われているイベント、活動などに協賛、協力を行っています。

■ プロバスケットボールチーム

「新潟アルビレックスBB」に協賛
新潟県では、チームスポンサーになっています。



新潟アルビレックスBB

■ 小樽雪あかりの路に協賛

(2009年2月6日～2月15日)
北海道小樽市で行われている「小樽雪あかりの路」に協賛しています。



小樽雪あかりの路

■ 佐賀県チャリティーライブに協賛

チャリティーライブ『HOME』
「ワクチンを送ろう」を目的に始まったチャリティーライブ『HOME』に協賛しています。



チャリティーライブ『HOME』



教育支援

● 企業見学・職場体験実習の受け入れ

各工場では、地元の小学校をはじめ中学校、高校、養護学校などの生徒の企業見学や職場体験実習を積極的に受け入れています。

四国支店西条工場では、地元高校生の企業見学を毎年行っています。2009年3月の企業見学では、40名の皆さんにご参加いただきました。



西条工場見学風景

VOICE

企業見学に参加して

西条農業高等学校 ● 山本 あきほさん

クリーニング以外にもいろいろな仕事をされているのに、社員数が70名と聞いて驚きました。とても効率よく仕事をしているからだと思います。それに、社員さんも自分たちの仕事に誇りを持っているように感じました。皆さんが生き生きと働き、環境面にも配慮されている工場を見学できたのは、とてもうれしく楽しい経験でした。

西条農業高等学校 ● 斉藤 優希さん

一番印象的だったのは工場内、中でも社員さんの服装の清潔さでした。クリーニング工場だけに衛生管理がしっかりしていることは重要なんですね。また、機械化されていると思っていた作業の多くが手作業で行われていて、丁寧な仕事ぶりを見ることができました。見学を通して学んだ、服装やマナー、仕事に取り組む姿勢を、これからの就職活動に向けて生かしていきたいと思います。

その他の社会貢献

社会福祉法人平成会への支援

グループ創業120周年を記念して、翌年の1992年より埼玉共同基金会を經由して社会福祉法人平成会の支援を行っています。



小倉百人一首歌碑を寄贈

2002年、京都商工会議所創立120周年記念事業「小倉百人一首歌碑建立事業」に歌碑を一碑寄贈しました。

(歌碑建立事業：小倉百人一首のゆかりの地、嵐山・嵯峨野地域に勅撰和歌集ごとに100首の歌碑を建立し、文化の継承と発展を図る事業)



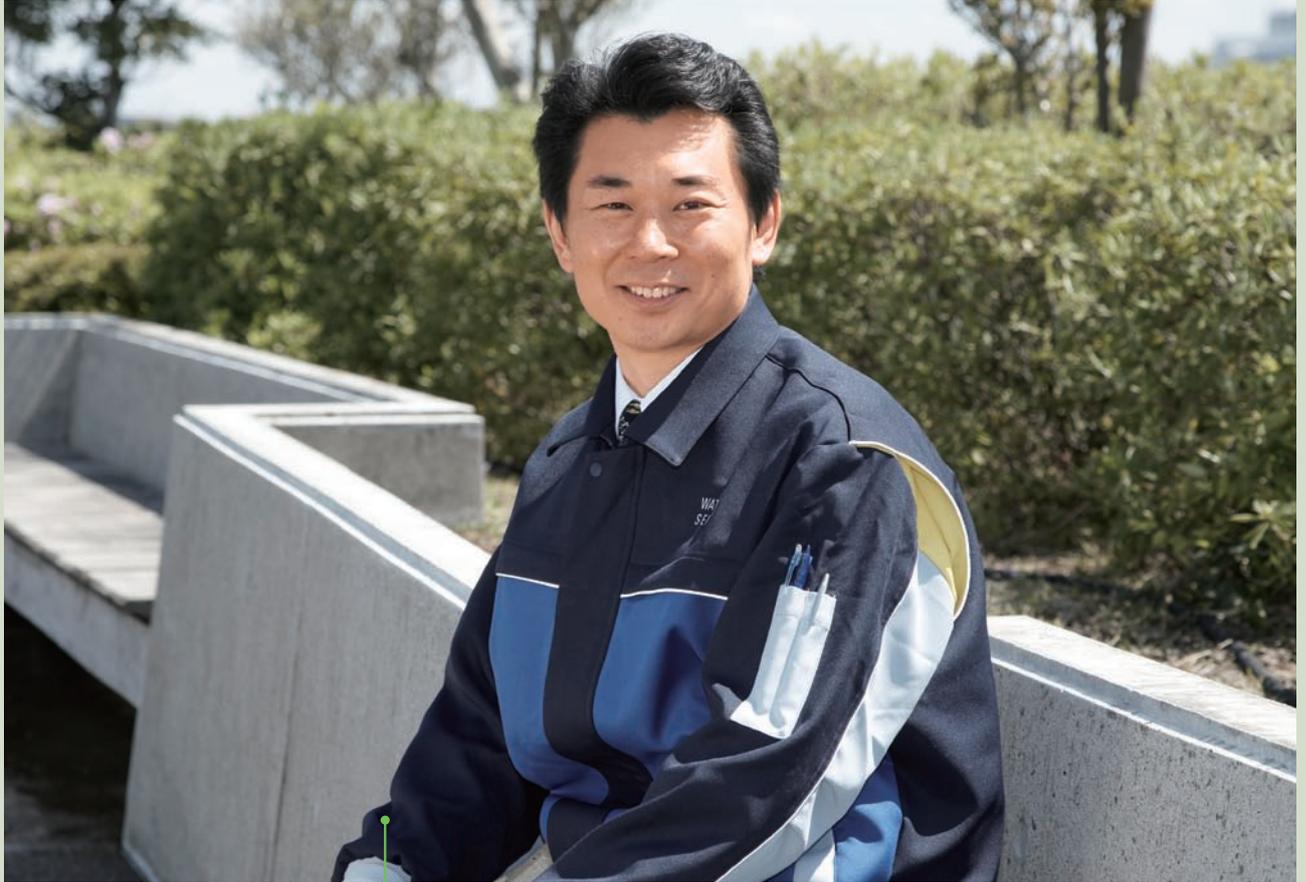
震災復興支援

2007年に発生した新潟中越沖地震では新潟県に義援金を寄託しました。



未来の地球を守るために環境保全活動を継続しています

弊社では、美しい地球環境を未来に引き継いでいくために、環境保全活動を大切な取り組み事項と位置づけ、継続的に実施しています。



自然にやさしい工場を目指して 環境対策を積極的に実践しています

東京支店 生産部 生産部長 伊藤 顕

弊社の工場で最大規模を誇る東京工場では、多い日には50トン以上の病院寝具類の洗濯を行っています。1995年の建設時から省エネ対策に力を入れており、乾燥工程で生じる蒸気を空調設備に利用するコ・ジェネレーションシステムの採用は、当時においては先駆的なものでした。

私が赴任してからは、ボイラー燃料をA重油から天然ガスへと転化させることでCO₂の排出量を抑え、硫黄酸化物やばい煙の発生を削減したほか、消毒方法の工夫による使用燃料の削減、製品の約9割においてビニール包装の廃止などに取り組みました。塩素ゼロの工場排水は河川に魚を呼び戻し、地域の清掃活動は地元住民の皆様にご喜ばれていると考えています。第一種エネルギー管理指定工場として、今後も常に一步先を行く環境対策に努めます。



地球環境に配慮した工場へ

弊社では、地球環境に配慮した工場設備を順次導入しています。コ・ジェネレーションシステムや太陽光発電などによるCO₂排出量の削減をはじめ、排水の再利用、低公害車への切り替え、屋上緑化など、さまざまな活動を通して、環境負荷の低減を図っています。

● 太陽光発電の導入

神奈川県相模原市に2006年に完成した相模原工場は、地球環境保全活動の一環として、CO₂などの有害な排気ガスを出さないクリーンな発電設備である「太陽光発電システム」を導入しました。屋上の総面積の36%に当たる1,252㎡にソーラーパネルを設置することで、大幅な天然ガス使用量の削減、CO₂排出量の削減を実現し、クリーンエネルギーを事業運営に有効利用しています。



相模原工場のソーラーパネル

● 天然ガス燃料の導入

2009年までに新設工場を含めた5工場ではボイラーを重油から天然ガスに切り替えています。5工場のうち、例えば城陽工場では、切り替え後に年間約2,000トンのCO₂排出削減を実現しました(基準年度排出量比較/2007年度実績)。

また、城陽工場においては併設する綿久リネンの工場とともに第2期自主参加型CO₂国内排出量取引制度に参加しました。

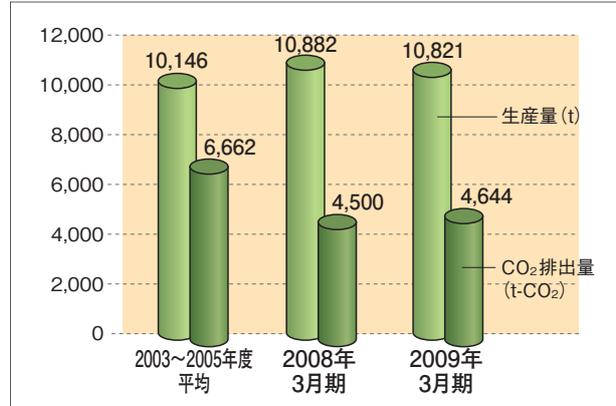


都市ガスボイラー

◎ 第2期CO₂国内排出量取引制度実績 (2008年3月期)

基準年度排出量	6,662t-CO ₂
削減予測量	1,680t-CO ₂
初期割当量	4,982t-CO ₂
実施年度排出量	4,500t-CO ₂
実質削減量	2,162t-CO ₂
削減率	32%
余剰削減量	482t-CO ₂

◎ 生産量とCO₂排出量 (城陽工場数値)



● コ・ジェネレーションシステムの導入

東京工場においては、乾燥工程で使用する蒸気が無駄なく空調設備にも活用するコ・ジェネレーションシステムなどの省エネ対策も実施しています。



東京工場コ・ジェネレーション設備



さまざまな環境活動

● 屋上緑化

東京工場では「工場に町がある、四季がある」をコンセプトとし、工場屋上には環境に配慮した庭園を設けています。工場の緑化とともに社員の皆様の憩いの場としても親しまれています。



東京工場

● 水の循環システム

洗濯工程の最終すすぎで使用した水を、再度洗浄用に使用し循環させています。最終排水は活性汚泥方式を採用し、排水の浄化を行っています。北陸工場では排水を利用して鯉を飼っています。



排水再利用の池の鯉

● 配送車両・営業車両

配送車両の一部を天然ガス車両に、営業車両の一部をハイブリッド車に順次切り替え、CO₂排出量削減への取り組みを始めています。



天然ガストラック



ハイブリッド車

● 紙おむつリサイクルへの取り組み

弊社では、国内における取り組みとしては初となる紙おむつのリサイクル事業に出資しています。

弊社のご契約先様より回収した使用済み紙おむつを、リサイクル工場にて再生紙おむつ・建築資材・固形燃料・土壌改良材などにほぼ100%再生しています。ご契約先様におけるCO₂排出量削減にも反映されています。

(2005年4月より操業)

● 環境配慮型製品

営業の取り扱い品目として、ペットボトルリサイクルのユニフォームなどの製品も取り扱っています。また、ご契約先様に「ESCO事業^{※1}」の紹介・提案も行っています。

● リサイクル商品

弊社で提供しているマットレス「オムニマット」は、リサイクル製品として2007年3月に環境大臣

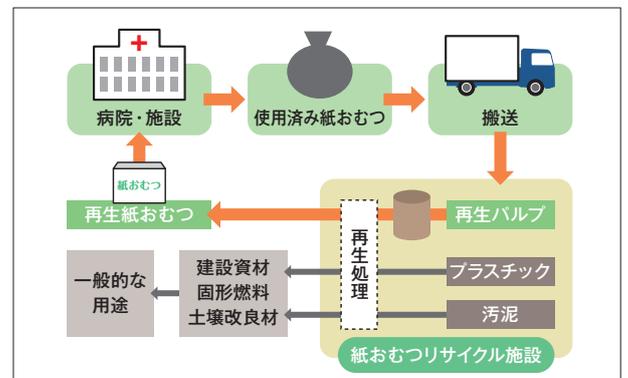


オムニマット

の許可を得て「広域認定制度^{※2}」を取得しています。

※1:「ESCO事業」とは、(エナジー・サービス・カンパニー:Energy Service Company)の頭文字を取って「エスコ」と読みます。)ビルや工場などの建物の省エネルギーに関する包括的なサービス(省エネルギー診断・設計・施工・導入設備の保守・運転管理・事業資金調達など)をESCO事業者が提供し、それによって得られる省エネルギー効果を事業者が保証し、削減した光熱水費の中からESCOサービス料と顧客の利益を生み出す事業です。

※2:「広域認定制度」とは、メーカーが複数の都道府県にまたがって広域的に使用済み製品の回収・リサイクルを行う場合に、廃棄物処理業に関する地方公共団体ごとの許可を不要とする特例制度です。



自然保護活動

● 森林保全支援活動

企業としての環境への責任を果たし、また社員の皆様への環境教育を行うため、森林保全支援活動を開始しました。2008年9月に京都府で行われている森林を守り育てる運動「京都モデルフォレスト運動」へ参加し、本社所在地の井手町にある大正池周辺、約36ヘクタールを対象に社員の皆様、地域住民の方、NPO法人とで間伐作業、除伐整備などの森林整備活動を行いました。



京都モデルフォレスト運動に参加した社員の皆様

森林整備活動を継続的に行うこととして2009年2月に「京都府」、「京都モデルフォレスト協会」、「井手町」、「井手町豊かな緑と清流を守る会」と弊社の5者にて森づくりに関する10年間の協定を結び、今後も活動していくことになりました。



調印式

本活動については「京都府森林吸収量認証制度」に申請しています。

※2009年6月期:1.58t-CO₂/年

2009年5月にはこれまでの活動で集められた間伐材のうち約300kgを、可搬式の炭焼き窯を使って、およそ8時間



かけて焼き上げ、木炭に加工しました。

出来上がった炭は、今後の森林整備ボランティア活動の際に行うバーベキューなどで、燃料に有効活用する予定です。



VOICE

近畿支店 支店長 ● 北村 義博

間伐作業は初めての体験でしたが、社員の皆様と一緒に良い汗をかくことができ、きれいになった森林を見てやりがいを感じました。手入れされた森林は多くのCO₂を吸収すると学びましたので、意義のある森林保全支援活動を定着させたいと思っています。



近畿支店生産部 係長 ● 原田 英俊

家族で参加し、斜面を登ったり草を刈ったりと、気持ち良く体を動かしました。森林保全支援活動は、子どもたちが遊びながら自然の大切さを学ぶチャンスでもあるので、これからも継続して参加し、多くの人にこの楽しさと充実感を伝えていきたいと思っています。



● 富士山クリーン活動

故・村田清次社長は「ワタキューセイモアを富士山のような日本一の会社に」と語っていました。その想いを継承するために、新入社員研修の一環としてNPO法人富士山クラブが主催する富士山清掃活動に参加しています。弊社では、2007年度から活動を始めており、2009年度は4月3日に行い、37名が参加して洗濯機、タイヤなど合わせて1,210kgの廃棄物を回収しました。



富士山クリーン活動



富士山クリーン活動に参加した社員の皆様

● 洞爺湖サミット記念植樹に参加

2008年6月に「北海道千年の森プロジェクト」と小樽市が協賛して行われた北海道洞爺湖サミットを記念する記念植樹祭に、北海道支店から17名のボランティアが参加し、小樽市の朝里ダム湖畔園地内にあるテニスコート周辺で他の参加者とともに樹木の苗5,000本を植えました。

VOICE

北海道支店 支店長 ● 牧野 伸一

私も含めて植樹祭に参加した皆さんは、自分や子どもたちの未来の生活や地球環境を改めて考えるきっかけになったと思います。今後は植樹だけではなく幅広い森林活動に参加していきたいと考えています。



VOICE

富士山クリーン活動に参加して
名古屋支店経理課 ● 武市 恭子



新入社員導入研修として富士山クリーン活動に参加して富士山のごみ問題が深刻なことを実感しました。トラックに山積みとなったごみを見て達成感とともに富士山の清掃活動に限らず、小さな活動、日頃の積み重ねが大切だと改めて思いました。この活動を経験することの価値を周囲に伝え、機会があればまたみんなで参加したいと思っています。

業務企画室 ● 中島 雅詞



私たちが回収した中には、廃油の入ったドラム缶や古タイヤ、テレビにスピーカーまでありました。こんな場所にこんなものが…と驚くばかりで、ごみ問題の深刻さを実感しました。この活動は、自分もCSR活動として社会に貢献できる素晴らしい機会。まだまだ自分にもできることはあるのではないかと考えるきっかけにもなりました。



洞爺湖サミット
記念植樹に参加した
社員の皆様



日清医療食品株式会社

本 社 : 〒100-6420 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング20階
 設 立 : 昭和47年(1972)9月25日
 資本金 : 39億7,100万円
 売上高 : 2,010億6200万円(2009年3月期連結)
 拠点数 : 本社・15支店・15営業所
 社員数 : 7,832名 平均臨時雇用者数22,733名
 管理栄養士数: 1,839名
 主要事業 : 病院・施設における給食の受託業務、医療用食品の販売など



【身障者の法定雇用率1.8%を上回る積極採用】

日清医療食品は、本社に「障害者雇用推進委員会」を設置、各種障害者団体とも連絡を取り合い、同社で働きたいという方の紹介をお願いするなど、障害者の方々の雇用を積極的に推進しています。「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、常用労働者56人以上の一般企業に定められる法定雇用率1.8%を超える2.1%(平成20年度平均値)を達成しています。

【キッチンカーによる災害発生時などの業務継続活動】

日清医療食品では、IH加熱カートを装備したキッチンカーを1台保有しています。

当該車両には、大容量発電機、500リットルの給水/排水タンク、スチームコンベクションオーブン、炊飯器、シンクなどの調理設備を搭載しています。

自然災害や万が一食中毒などの事故が発生し、調理施設が使用不能となった場合にも、当車両の調理設備の能力を活用して、治療食の提供まで含め、食事提供業務の継続を図ることができます。



【ムース食の提供による療養・介護中のQOLの向上】

日清医療食品では、医療・介護施設様での高齢者向け食事サービスの一つとして、咀嚼・嚥下困難の方々に向け、美味しく・安全に「噛む・飲み込む」を可能にし、喜んでいただける食事サービス「ムース食」を同社受託先にて導入しています。

ムース食を通じ、咀嚼・嚥下困難の方も、生きるためだけに食事をするのではなく、食事を楽しんでいただきたい、それが食事を提供する側からの願いです。

【福利厚生施設】

社員福利厚生の一環として、長野県茅野市に「蓼科山荘」を保有し、ワタキューグループで使用しています。



綿久リネン株式会社

本 社 : 〒610-0301 京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚12-2
設 立 : 昭和48年(1973)1月10日
資本金 : 4,500万円
売上高 : 116億8,800万円(2009年6月)
拠点数 : 本社・本部・支社・7支店・16営業所
社員数 : 522名
主要事業 : ホテル・旅館・レストランなどのリネンサプライ、一般クリーニング



【第2期自主参加型CO₂国内排出量取引制度】に参加

ワタキューセイモア近畿支店城陽工場と、併設している綿久リネン近畿支店城陽工場とが共同事業として「第2期自主参加型CO₂国内排出量取引制度」に参加しました。

従来より使用していた重油型ボイラーから天然ガス型ボイラーに転換し、2,162トンのCO₂を削減しています。

株式会社ハートウェル

本 社 : 〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港42-4
設 立 : 平成13年(2001)2月22日
資本金 : 8億3,380万円
売上高 : 88億9,500万円(2009年6月)
拠点数 : 本社・メンテナンス物流センター2拠点・営業店29店舗
社員数 : 582名[男329名・女253名]
主要事業 : 福祉用具のレンタル・販売・住宅の増改築・建替えおよびリフォームなど



【エコアクション21登録】

～エコアクション21の社内推進組織「アーシュ・ミーティング」～

「アーシュ」とはフランス語で「かけはし」「つなぐ」という意味があり、メンバーから全国の社員へ、そしてそれぞれの地域へと「つなぎ、広めよう」という願いが込められています。毎月1回メンバーが集まり、アイデアを持ち寄り、環境活動を推進しています。

【ストップ温暖化&障害者就労支援～緑化ブロックと障害者就労支援モデル～】

「平成20年度長寿・子育て・障害者基金事業助成金」を活用し、自治体や企業が行う緑化促進や障害者が維持管理するモデル事業に地元NPOと参加しています。

本社エントランスホールに芝ブロックを設置し、障害者の方に水やりや施肥の整備をお願いしています。

障害者の方の就労機会拡大だけでなく、緑があふれることによるメンタル面への効果も施設の方から期待されています。



株式会社フロンティア

本社 : 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
 新大阪トラストタワー14階
 設立 : 昭和58年(1983)11月18日
 資本金 : 4億8,500万円
 売上高 : 260億円(2009年6月)
 店舗数 : 137店舗(2009年6月)
 社員数 : 981名[男180名・女801名]
 薬剤師数552名[男128名・女424名]
 主要事業 : 保険薬局運営
 展開店舗名 : ワタキュー薬局・フォレスト薬局・ワタキューフジタ薬局・フレンド薬局など



【薬局での障害者接客】

患者様に安心・信頼していただけるサービスの提供の基本方針に基づき、フロンティアでは、店舗のバリアフリー設計はもとより、聴覚障害者の患者様への手話での対応、視覚障害者の患者様への点字での対応に積極的に取り組んでいます。

株式会社メディカル・プラネット

本社 : 〒108-6032 東京都港区港南2-15-1
 品川インターシティ A棟32階
 設立 : 平成12年(2000)8月18日
 資本金 : 8,800万円
 売上高 : 15億600万円(2009年6月)
 拠点数 : 本社・長野営業所・大阪支店(2009年8月開設)
 社員数 : 52名
 主要事業 : 医療・福祉関連施設への人材紹介・派遣などの人材サービス事業



【紙コップからマイカップへ】

紙コップの使用を廃止し、社員一人ひとりが自分のカップを持参するマイカップ活動を実施しています。一人ひとりの小さな活動が、地球環境の保護につながっていくことを意識し、この活動を継続して行っています。

【地域クリーン活動】

毎月1回、会社が所在するビル近辺のごみ拾いなどの、クリーン活動を行っています。

その他の主なワタキューグループ企業

- 沖縄綿久寝具株式会社
〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道1丁目8-5
- 株式会社セイモア
〒600-8416 京都府京都市下京区烏丸通高辻下る薬師前町707 烏丸シティ・コアビル7階
- 株式会社コモサ
〒802-0005 福岡県北九州市小倉北区堺町1丁目3番15号 日生堺町ビル4階
他37社



【基本方針カード】

弊社グループの皆さんが常に携帯している「基本方針カード」の裏面に描かれているおじぎ福助人形は、ワタキューグループの心のシンボルとして、関係するすべての皆様への「感謝の気持ちと謙虚な姿勢」を示したものです。

この基本方針カードに書かれた処世訓は、ワタキューセイモア(株)取締役、日清医療食品(株)代表取締役・村田清和の筆によるものです。

編 集 後 記

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

弊社におきましては、時代に沿った健全なるCSR経営を目指し、2007年1月にトップ自らCSR推進室を立ち上げ、今年で3年目になりました。

今回初版となります本レポートは、一人でも多くの社員の皆様が登場することで、弊社グループの「基本方針」に沿って行っている事業活動や、本業を通じたCSR活動などを、社員の皆様自身が「分かりやすく、読みやすくすること」を編集の基本として作成しています。

弊社グループは、2011年創業140周年の節目を迎えますが、これまでも事業部の拡大・成長と共に、分社化を繰り返し、同じグループ会社に勤めていながら、まだ

まだ会社のことを知らない現実があります。

本レポートでご紹介している内容はまだまだ不十分で、弊社グループのすべてではございませんが、今回の発行を機に、少しでも多くの社員の皆様に理解いただき、チームの一員としてさらに社会から安心、信頼される弊社グループを目指してまいります。

最後に、今回のCSRレポート作成にあたり、ご契約先様はじめ全国の社員の皆様におかれましては、業務ご多忙の中、取材・撮影にご協力いただきましたことにつきまして、CSR推進実行委員一同深くお礼申し上げます。

CSR推進室長 兼 東京事務所所長 森本 直樹



南 康彦



田口 幸雄



齋藤 哲也



大内 佳代



村田 憲彦



藤吉 清次



荒木 典子



高畑 憲



北川 友紀



大坪 佑子



藤木 涼平



中村 俊孝



青木 仁美



安藤 浩之



原田 英俊



高畑 松三



田坂 謙典



中尾 末千代

CSR推進実行委員

【お問い合わせ先】

東京事務所 (CSR担当)
〒108-6032 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟32階
TEL.03-5460-5371 FAX.03-5460-5372 Eメール: csr@watakyu.co.jp



弊社九州工場の初期に導入し、使用していた洗濯機を
記念モニュメントとして、九州支社の敷地内に展示。

「清次号」

事業発展のため、苦悩の連続であった先代社長・村田清次の意を引き継ぎ、
今後のグループの発展を誓い合う九州支社の象徴として展示している。



ワタキューセイモア株式会社

〒600-8416

京都府京都市下京区烏丸通高辻下る薬師前町707
烏丸シティ・コアビル

<http://www.watakyu.co.jp/>



2009.10